

月 26 日 大阪市

- 5) 鶴巻 浩, 渡部桃子, 大竹涼介 抗血小板療法中の患者に対する全顎インプラント治療の経験. 第 27 回日本有病者歯科医療学会総会 138 2018 年 3 月 22-24 日 江戸川区
- 6) 勝見祐二, 高木律男, 大島勇人 口底部静脈の走向様式と手術関連出血リスクの評価. 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 217 2018 年 11 月 2-4 日 千葉市
- 7) 勝見祐二, 星名秀行, 永田昌毅, 魚島勝美, 高木律男 上下顎無菌症に対し自家培養骨膜細胞併用顎堤形成術後インプラント治療を施行した 1 例. 第 105 回関東形成外科学会新潟地方会 2 2018 年 7 月 27 日 新潟市
- 8) 上松晃也, 星名秀行, 荒井良明, 山田一穂, 今井秀明 上顎無菌症 IOD の経過不良に対し骨造成を伴う固定性補綴へと治療方針を変更し奏効した 1 例 第 48 回日本口腔インプラント学会学術大会・総会 202 9 月 14-16 日 大阪市
- 9) 今井秀明, 星名秀行, 上松晃也, 山田一穂, 小川信, 魚島勝美, 高木律男 下顎小児線維腫症術後の骨欠損に対して骨延長、インプラント治療により機能再建した 1 例 第 22 回顎顔面インプラント学会総会・学術大会 185 2018 年 12 月 1-2 日 江東区

【その他】

- 1) 勝見祐二: 日本顎顔面インプラント学会 専門医 登録番号 SP049 号, 認定期間 (2018 年 4 月 1 日-2023 年 3 月 31 日), 2018 年 4 月 1 日認定.

【研究費獲得】

- 1) 勝見祐二: インプラント手術における口底部静脈のリスク評価と動脈走行の予測. 平成 28-30 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究(B), 計 3,900 千円. 16K20535.
- 2) 星名秀行 (研究分担者 永田昌毅): RGD 配列に富む細胞高親和性リコンビナントペプチドからなる骨再生足場素材の開発. 平成 29-31 年度 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 計 3,600 千円. 17K11801.
- 3) 奥田一博: インプラント周囲炎の治療予後に影響を与える組織特異的幹細胞傷害の可能性を探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 17K11799, 2018.
- 4) 魚島 勝美: 骨質 (コラーゲン) が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズムを探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 26293408, 2017.

顎関節治療部

【論文】

- 1) Takashima M, Arai Y, Kawamura A, Uoshima K. Risk factors associated with post-loading implant loss of removable and fixed implant-supported prostheses in edentulous jaws. *J Prosthodont Res.* 2018 Jul;62(3):365-369
- 2) Tanaka M, Yamashita-Mikami E, Akazawa K, Yoshizawa M, Arai Y, Ejiri. Trabecular bone microstructure and mineral density in human residual ridge at various intervals over a long period after tooth extraction. *Clin Implant Dent Relat Res.* 2018 Jun;20(3):375-383
- 3) Nagai K, Domon H, Maekawa T, Oda M, Hiyoshi T, Tamura H, Yonezawa D, Arai Y, Yokoji M, Tabeta K, Habuka R, Saitoh A, Yamaguchi M, Kawabata S, Terao Y. Pneumococcal DNA-binding proteins released through autolysis induce the production of proinflammatory cytokines via toll-like receptor 4. *Cell Immunol.* 2018 Mar;325:14-22.
- 4) Mikami T, Kato Y, Kojima T, Abe T, Maruyama S, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T: An unusual and difficult diagnosis of synovial chondromatosis: A case report. *Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 30(5): 422-427, 2018.
- 5) Nikkuni Y, Nishiyama H, Hyayashi T: The relationship between masseter muscle pain and T2 values in temporomandibular joint disorders. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* 126(4): 349-354, 2018.
- 6) Saito N, Funayama A, Arai Y, Suda D, Takata Y, Kobayashi T. Vertical distraction osteogenesis of a reconstructed mandible with a free vascularized fibula flap: a report of two cases. *Maxillofac Plast Reconstr Surg.* 2018 Nov 15;40(1):32. doi: 10.1186/s40902-018-0172-2.
- 7) 鈴木英弘, 池田順行, 八木 稔, 大貫尚志, 齋藤太郎, 高木律男: 学童期検診における開口量および開閉口時クリック音の縦断的調査. *日本顎関節学会雑誌* 30 (1): 51-58: 2018.
- 8) 荒井良明: 歯科衛生士の新しい役割覚醒時ブラキシズムの是正指導による力のコントロール. *群馬県歯科医学会雑誌* 2018 22 巻 7-11.

【商業誌】

- 1) 池田順行, 高木律男: 顎関節疾患の画像診断, 医薬ジャーナル, 54 (7): 5-10 頁, 2018.
- 2) 小林正治: 顎矯正手術が顎関節に及ぼす影響—PCR 発症メカニズムとその対応, 矯正臨床ジャーナル 34(5), 11-32 頁, 2018.

【学会発表】

- 1) Nakatani Y, Shimizu S, Kurose M, Yamamura K, Takagi R, Okamoto K. Daily intake of Japanese Rice Wine (Sake) reduces masseter muscle nociceptive responses in the trigeminal subnucleus caudalis after psychophysical stress in the rats. Neuroscience 2018, San Diego, USA 3-7th Nov, 2018.
- 2) 荒井良明, 高嶋真樹子, 山崎裕太, 高木律男. 就労女性の覚醒時時間帯別咬筋活動の予備調査. 第 30 回日本顎関節学会総会・学術大会, 横浜市, 2018 年 7 月 7-8 日. 第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会プログラム・抄録集 頁, 2018.
- 3) 中谷暢佑, 高木律男, 岡本圭一郎: 日本酒は情動ストレスによる咬筋の侵害受容反応の増大を抑制する. 第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会, 北九州市, 2018 年 7 月 7-8 日. 第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会プログラム抄録集 123 頁, 2018.
- 4) 加藤祐介, 三上俊彦, 長谷部大地, 西山秀昌, 林孝文, 小林正治: 顎矯正手術前後における顎関節症状と下顎頭形態の変化. 第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会, 北九州, 2018 年 7 月 8 日.
- 5) 池田順行, 高嶋真樹子, 河村篤志, 山崎裕太, 荒井良明, 大貫尚志, 齋藤太郎, 上野山敦士, 中谷暢佑, 西山秀昌, 高木律男: 顎関節解放手術を行った顎関節円板障害を伴う変形性顎関節症の 1 例. 第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会, 北九州, 2018 年 7 月 7 日.
- 6) 山崎裕太, 高嶋真樹子, Stegaroiu Roxana, 黒川孝一, 荒井良明. 下顎片側最後方大白歯欠損のインプラント治療が咬合力分布へ及ぼす影響. 日本口腔インプラント学会第 48 回学術大会, 大阪市, 2018 年 9 月 14-16 日. 日本口腔インプラント学会誌 Vol.31 特別号 54 頁, 2018.
- 7) 大貫尚志, 児玉泰光, 黒川 亮, 勝見祐二, 齋藤太郎, 山田瑛子, 山田 茜, 西山秀昌, 飯田明彦, 高木律男: 顎関節強直症に対し腹部脂肪を中間挿入物に用いて顎関節授動術を施行した SAPHO 症候群の 1 例. 第 63 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2018 年 11 月 2-4 日.
- 8) 黒川 亮, 児玉泰光, 池田順行, 大貫尚志, 齋藤太郎, 上野山敦士, 北村 厚, 中谷暢佑, 木口哲郎, 高木律男: 顎関節脱臼に対し関節隆起切除術を行っ

た 4 例. 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2018 年 11 月 2-4 日. 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会プログラム抄録集 236 頁, 2018.

【その他】

- 1) 高木律男: 柏崎・上越歯科医師会講演会「顎関節症状への対応; よりの確な診断と治療の是非」. 上越市, 2018年9月6日.
- 2) 高木律男:新潟大学歯学部同窓会 埼玉県支部講演会「顎関節症: 診断と治療の潮流」. 大宮市, 2018年11月11日.
- 3) 高木律男: 村上市岩船歯科医師会講演「顎関節症: 診断と治療の潮流」. 村上市, 2018年11月17日.
- 4) 高木律男:新潟大学歯学部同窓会群馬県支部講演「顎関節症: 診断と治療の潮流」. 高崎市, 2018年12月9日.

【研究費獲得】

- 1) 荒井良明: グラスファイバー強化型レジンプロック削り出しダウエルコアを用いた支台築造法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(C),平成 30-32, 計 3,640 千円. 課題番号 18K09698.
- 2) 高嶋真樹子 日中ブラキシズム是正指導としての行動変容法の効果を客観的に定量評価する. 平成 30-32 年度日本学術振興会科学研究費補助金研究, 若手研究計 3,120 千円. 課題番号 18K17114
- 3) 池田順行: 顎関節滑膜組織内での疼痛伝達機序の解明-滑膜表層細胞と神経ペプチドに着目して-. 平成 28-30 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 計 3,200 千円. 課題番号 16K11680.
- 4) 新國 農: バイオイメージングによる顎関節症治療の新たな地平:咬筋性状の高精度精査.学術研究助成基金助成金(若手), 課題番号 18K17194,
- 5) Stegaroiu Roxana, 黒川孝一, 荒井良明 (研究分担者), 山田一穂, 田中茂雄: インプラント検討症例の残存歯咬合力を用いたヒト生体骨梁モデルの 3 次元有限要素解析, 日本学術振興会科学研究費補助金研究、基盤研究 (C),平成 28-30,計 4680 千円. 課題番号 16K11588.
- 6) 山口泰彦, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明 (研究分担者) ほか. マルチセンタリーサーチによる日中覚醒時ブラキシズムの診断基準確立への挑戦. 日本学術振興会科学研究費補助金研究、基盤研究 (B), 平成 29-31,計 9750 千円. 課題番号 16K11588.
- 7) 荒井良明: 顎関節治療に関する研究助成. サンメディカル (株) 寄付金 2018 年 5 月 350 千円.

【受賞】

- 1) 高嶋真樹子：顎関節症長期病悩患者におけるエゴグラムチェックリストを活用した自我状態の検討. 日顎誌, 29巻2号: 92-99頁, 2017平成30年度日本顎関節学会学術奨励賞最優秀賞(覚道健治賞). 第31回日本顎関節学会総会・学術大会, 北九州, 2018年7月8日.
- 2) 加藤祐介：顎矯正手術前後における顎関節症状と下顎頭形態の変化. 第31回日本顎関節学会総会・学術大会ポスター発表優秀賞：第31回日本顎関節学会総会・学術大会, 北九州, 2018年7月8日.